

環境創造型農業推進フォーラム参加レポート

兵庫県が推進する人と環境にやさしい農業、「環境創造型農業」の意義を考え、広げていくことを目的とした環境創造型農業推進フォーラムが8月29日に開催され、約300人の方が参加されました。

(有)高本農場の高本様による講演では、生物との共生を目指すコウノトリ育む農法の実践や安全安心な米を使った加工品開発の取組みのお話、自社生産した米や大豆等を使った商品の販売及び料理を提供する食堂経営など、消費者と生産者で支えていく地域の自立を目指した今後の農業のあるべき姿を提案されました。パネルディスカッションでは、流通業者の(株)トーホーから自社農場を拠点とした野菜生産やその野菜を用いたレストラン事業の運営、実需者の(株)夢舞台から地産地消フェア等を通じた食の安全安心の取組み、おやおや有機農業の学校から有機農業を基礎とした地域づくりの4プロジェクト(仕事づくり、健康な暮らしづくり、後継者づくり、環境づくり)のお話を頂きました。コーディネーターの保田茂神戸大学名誉教授からは、地域の農業生産や住民により地域環境が守られていることから、その活動を維持発展させるためにも次世代を担う子供たちに対して「地域を守る」という心を育む必要性についての言及がありました。改めて考えさせられた、自然と寄り添い食物、生活そして環境を培っていくことの大切さ。その基本となるのが、環境創造型農業です。

フォーラムの最後には参加者の方から多数の質問が飛び交い、農業を通じて人と地域の未来を考える熱気でいっぱいの会でした。